

第 8 章 地域の概況

第8章 地域の概況

8.1 一般項目

本事業に関わる地域の概況(一般項目)の要約は表 8.1-1 に示すとおりです。

表 8.1-1(1) 地域の概況(一般項目)

項目	地域の概況
人口	平成 30 年 1 月 1 日現在の多摩市及び稲城市の合計は、人口が 238,639 人、世帯数が 110,601 戸となっており、過去 5 年間の年変動をみると人口及び世帯数とも増加傾向となっています。
産業	多摩市及び稲城市における事業所数及び従業者数の割合最多は、いずれも「卸売業、小売業」となっています。平成 26 年から平成 28 年では、「生活関連サービス業、娯楽業」や「建設業」が増加し、「情報通信業」や「教育学習支援業」が減少しています。
交通	<p>計画道路及びその周辺の主要道路における平日の 12 時間交通量は、平成 27 年度において 8,843~22,621 台/12h でした。このうち、計画道路の町田調布線(南多摩尾根幹線)では 10,180/12h 台でした。</p> <p>計画道路及びその周辺の主な鉄道としては、京王電鉄京王相模原線、小田急電鉄小田急多摩線、JR 南武線及び JR 武蔵野(貨物)線があり、JR 武蔵野(貨物)線は計画道路と立体交差しています。駅としては、計画道路の東側に JR 南武線の稲城長沼駅及び京王電鉄京王相模原線の稲城駅があります。乗車人員数の最多は稲城駅の年間約 378 万人(平成 28 年度)で、経年的には各駅ともこの 5 年間で増加傾向となっています。</p> <p>計画道路を通行・交差するバス路線には京王バス及び稲城市の市内循環バスがあり、計画道路路上には 3 箇所のバス停(多摩東公園、杜の一番街、稲城中央公園)が設置されています。</p>
土地利用	<p>多摩市聖ヶ丘周辺は、主に事務所建築物、独立住宅、公園、運動場等が分布しています。稲城市域西側(多摩市と稲城市の市境～稲城中央公園交差点)は、独立住宅、公園、運動場、原野等が分布しています。旧坂浜処分場跡地は土地利用現況図では未利用地に区分されているものの、現在は稲城長峰スポーツ広場としてサッカー場や公園として使われています。稲城市域東側(稲城中央公園交差点～稲城福祉センター入口交差点)は、主に教育文化施設、独立住宅、公園、運動場等に利用されている他、事務所建築物、専用商業施設、森林等が分布しています。本エリアの事務所建築物と専用商業施設は、流通施設関係、ドラッグストア、ファミリーレストラン等のロードサイド形の店舗等です。なお、トンネル構造は、多摩市聖ヶ丘周辺から稲城市西側の範囲であり、地上部には教育文化施設、専用商業施設、独立住宅、集合住宅に利用されている他、公園、運動場、畑、森林等が分布しています。</p> <p>計画道路沿道の多摩市聖ヶ丘周辺には、3 階以下の低層住居が分布しています。また、稲城市域でも同様に 3 階以下の低層住居が分布しています。高層建築物については、計画道路東坑口付近の南側背後地に集合住宅が立地しています。</p> <p>計画道路及びその周辺の一部は多摩ニュータウンの地域となっており、多摩地域の無秩序な開発を防止し居住環境の良い宅地や住宅を大量に供給することを目的に、昭和 40 年代から開発されてきました。計画道路周辺には住宅の他、公園や運動施設があり、教育施設も多く立地しています。</p> <p>計画道路及びその周辺における都市計画法に基づく用途地域及び地区計画の指定状況としては、計画道路沿道の多摩市域は主に第一種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域及び第二種住居地域に指定されています。稲城市域は主に第一種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域に指定されています。</p> <p>また、計画道路沿道の土地利用の状況を反映し、住居を目的とした地区計画が多く定められています。</p> <p>その他、計画道路周辺には、向陽台小学校、稲城第五中学校をはじめとして、社会福祉施設、運動施設、公園・緑地が分布しています。</p>

表 8.1-1(2) 地域の概況(一般項目)

項 目	地域の概況
水域利用	<p>計画道路及びその周辺の河川は、計画道路南側に三沢川が流れています。また、三沢川流域の治水対策の一環として、多摩ニュータウン稲城地区の開発に伴う雨水排水のために建設された三沢川分水路(トンネル河川)があります。三沢川流域の東京都管理区間では、漁業権が設定されていません。</p> <p>計画道路及びその周辺の湧水は、計画道路南側約 660m に妙見寺、計画道路南側約 740m に若葉台公園があります。</p> <p>計画道路及びその周辺の井戸として、公園や小学校等に飲用水用の防災用井戸等が 11 箇所あります。</p> <p>多摩市及び稲城市では、地下水を上水道や工業用水等に利用しています。平成 24 年度から 28 年度の過去 5 年間の全揚水量をみると、平成 26 年に揚水量が最大となり、それ以降減少傾向が見られます。特に、稲城市における上水道の揚水量が大きく減少しています。</p> <p>地下水位の変動量は、観測井の「新多摩」は平成 11 年に観測を開始し平成 20 年 3 月までは観測が行われていました。近年地下水位が地盤面より高くなり水位の観測が困難になりましたが、自噴していることは確認されています。地下水位は T. P. 50m[※]程度で安定していました。観測井の「稲城」は観測を開始してから上下動を繰り返していますが、おおむね地下水位は上昇傾向にあり、近年は T. P. 30m 前後で推移しています。</p> <p>公共下水道の普及率はほぼ 100%となっています。</p>
気 象	<p>計画道路及びその周辺における気象庁気象観測所としては、計画道路北側約 5.5km の地点に府中地域気象観測所があります。</p> <p>平成 30 年の府中地域気象観測所の気象状況は、年間降水量は 1,388.5mm、年平均気温は 16.2℃、年平均風速は 1.8m/s、年間最多風向は北北東、日照時間は 2,119.6 時間となっています。</p> <p>過去 5 年間では、府中地域気象観測所の年間降水量は約 1,400mm～1,900mm、平均気温は 15.1℃～16.2℃、平均風速は 1.6m/s～1.8m/s、最多風向は北北東、日照時間は約 1,800 時間～2,220 時間程度で推移しています。</p>
関係法令の指 定・規制等	<p>本事業に関係する主な法令は、環境基本法、東京都環境影響評価条例(昭和 55 年東京都条例第 96 号)、環境確保条例、自然保護条例、道路法(昭和 27 年法律第 180 号)、都市計画法(昭和 43 年法律第 100 号)等です。</p>
環境保全 に関する 計画等	<p>東京都では、「東京都環境基本計画」、「都民ファーストでつくる「新しい東京」～2020 年に向けた実行プラン～」、「東京の都市づくりビジョン」、「緑施策の新展開」等を策定しています。</p> <p>また、多摩市及び稲城市では「都市計画マスタープラン」、「環境基本計画」、「緑の基本計画」等を策定しています。</p>

※ T. P. とは、東京湾平均海面を示します。一方、A. P. とは、東京湾霊岸島量水標零位を示します。T. P. と A. P. の関係は次式のとおりです。
T. P. = A. P. + 1.1344m

8.1.1 人口

多摩市及び稲城市における最近5年間の人口及び世帯数は、表 8.1-2 に示すとおりです。平成30年1月1日現在の2市の合計は、人口が238,639人、世帯数が110,601戸となっています。過去5年間の年変動をみると人口及び世帯数とも増加傾向となっています。

表 8.1-2 多摩市及び稲城市の人口及び世帯数の推移

市名	区分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
多摩市	人口 (人)	147,681	147,486	147,849	148,293	148,724
	世帯数 (戸)	68,176	68,528	69,312	70,327	71,114
稲城市	人口 (人)	86,169	86,594	87,461	89,089	89,915
	世帯数 (戸)	36,755	37,184	37,780	38,809	39,487
合計	人口 (人)	233,850	234,080	235,310	237,387	238,639
	世帯数 (戸)	104,580	105,712	107,092	109,136	110,601

注1)各年1月1日現在の値です。

注2)人口：外国人登録人口を含みます。

注3)世帯数：外国人世帯を含みます。

資料：「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」(平成30年12月閲覧 東京都総務局ホームページ)

8.1.2 産業

多摩市及び稲城市における事業所及び従業者数の産業別割合は、表 8.1-3 に示すとおりです。

多摩市及び稲城市における平成 26 年、平成 28 年の事業所数及び従業者数の割合最多は、いずれも「卸売業、小売業」となっています。平成 26 年から平成 28 年では、「生活関連サービス業、娯楽業」や「建設業」が増加し、「情報通信業」や「教育学習支援業」が減少しています。

表 8.1-3 事業所数と従業者数の産業別割合

(単位：%)

市名	産業大分類	事業所数の割合		従業者数の割合	
		平成 26 年	平成 28 年	平成 26 年	平成 28 年
多摩市	全産業(公務を除く)	100.0	100.0	100.0	100.0
	農林漁業	0.1	0.1	0.1	0.1
	鉱業、採石業、砂利採取業	0.0	0.0	0.0	0.0
	建設業	5.7	5.8	3.0	3.2
	製造業	2.9	2.8	2.9	2.7
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.1	0.1	0.2	0.0
	情報通信業	2.8	2.7	8.0	7.3
	運輸業、郵便業	1.3	1.3	5.0	6.1
	卸売業、小売業	24.7	25.5	22.5	21.4
	金融業、保険業	1.9	1.9	2.8	3.3
	不動産業、物品賃貸業	8.6	7.1	2.1	1.9
	学術研究、専門・技術サービス業	5.7	5.6	2.7	2.5
	宿泊業、飲食サービス業	13.6	13.7	11.8	11.7
	生活関連サービス業、娯楽業	9.2	9.7	5.4	6.0
	教育学習支援業	4.9	4.3	8.6	6.6
	医療、福祉	11.0	11.6	15.4	16.0
	複合サービス事業	0.4	0.4	0.2	0.2
サービス業(他に分類されないもの)	7.2	7.4	9.4	11.1	
稲城市	全産業(公務を除く)	100.0	100.0	100.0	100.0
	農林漁業	0.5	0.5	0.4	0.4
	鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-	-
	建設業	11.9	12.0	6.9	7.4
	製造業	9.0	9.2	15.6	13.9
	電気・ガス・熱供給・水道業	0.1	0.0	0.1	0.0
	情報通信業	1.7	1.5	1.2	0.7
	運輸業、郵便業	1.8	1.6	4.5	4.4
	卸売業、小売業	18.9	19.0	19.8	21.1
	金融業、保険業	1.0	1.1	0.9	1.1
	不動産業、物品賃貸業	12.2	12.1	2.8	2.9
	学術研究、専門・技術サービス業	4.2	4.2	1.7	1.9
	宿泊業、飲食サービス業	10.0	10.2	8.0	8.8
	生活関連サービス業、娯楽業	8.0	8.6	5.7	9.1
	教育学習支援業	5.6	4.8	7.1	5.7
	医療、福祉	9.2	8.9	19.4	16.3
	複合サービス事業	0.4	0.4	0.6	0.4
サービス業(他に分類されないもの)	5.5	5.7	5.2	6.0	

注 1) 平成 26 年 7 月 1 日現在及び平成 28 年 7 月 1 日の値です。

注 2) 表中の数値は四捨五入した値であるため、合計が 100.0%にならない場合があります。

資料：「平成 26 年経済センサス 基礎調査」(平成 30 年 12 月閲覧 総務省ホームページ)

「平成 28 年経済センサス 活動調査」(平成 30 年 12 月閲覧 総務省ホームページ)

8.1.3 交通

(1) 道路

計画道路及びその周辺の主要道路網における交通量は、表 8.1-4 及び図 8.1-1 に示すとおりです。

計画道路及びその周辺の主要道路における平日の 12 時間交通量は、平成 27 年度において 8,843～22,621 台/12h でした。調査範囲内には 24 時間交通量の調査を行っている調査地点はありませんでした。

このうち計画道路の町田調布線(南多摩尾根幹線)の交通量は 10,180 台/12h(区間番号 41200) でした。

表 8.1-4 道路交通量

(単位：台/12h)

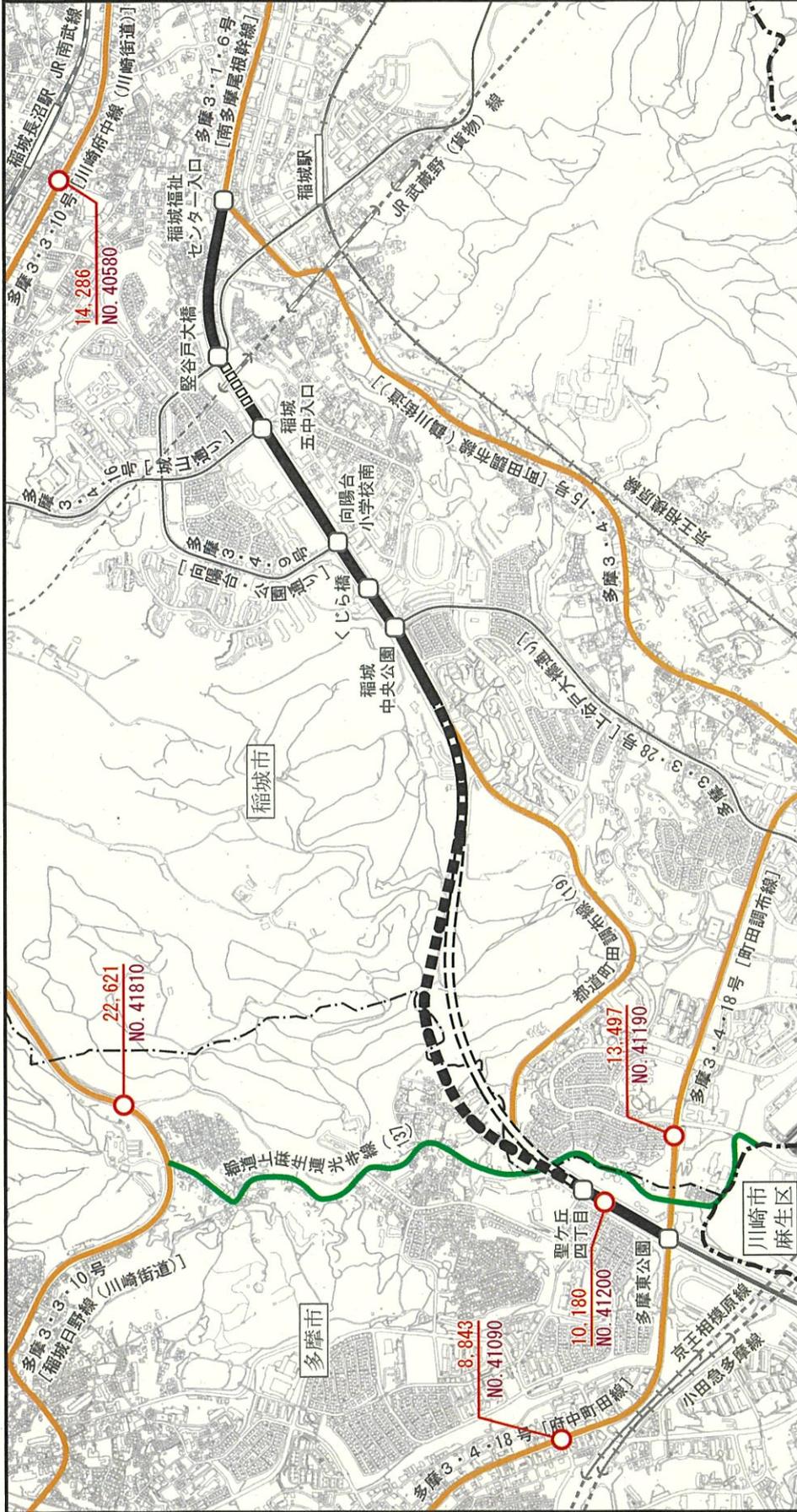
路線名	区間番号	調査地点	平成 22 年度	平成 27 年度
(主 9)川崎府中線	40580	稲城市 東長沼 1035-6	16,781	14,286
(主 18)府中町田線	41090	多摩市 馬引沢 2-12	9,787	8,843
(主 19)町田調布線	41190	稲城市 若葉台 4-20-1	14,825	13,497
(主 19)町田調布線	41200	多摩市 聖ヶ丘 4-3	10,766	10,180
(主 41)稲城日野線	41810	多摩市 連光寺 4-1	18,844	22,621

注 1) 区間番号は図 8.1-1 の表記に対応しました。

注 2) 路線名における(主)は主要地方道を示します。

資料：「平成 27 年度道路交通センサス一般交通量調査結果」

(平成 30 年 12 月閲覧 東京都建設局ホームページ)



凡例

- 計画道路 (平面構造)
- ▨ 計画道路 (トンネル構造 (A案 既定都市計画案))
- ▨ 計画道路 (トンネル構造 (B案 南側変更案))
- ▨ 計画道路 (橋梁構造)
- ⋯ 都県界
- 主要地方道
- 一般都道府県道 (計画道路と交差する主な市道)
- 交差点
- 市界
- 一般都道府県道
- 鉄道

○ 交通量 (台/12h, 平成27年度) 区間番号



図 8.1-1 主要道路網及び交通量調査図

資料：「平成27年度道路交通センサス一般交通量調査結果」(平成30年12月閲覧 東京都建設局ホームページ)

(2) 鉄道

計画道路及びその周辺の鉄道網は、図 8.1-2 に示すとおりです。主な鉄道としては、京王電鉄京王相模原線、小田急電鉄小田急多摩線、JR 南武線及び武蔵野(貨物)線があり、JR 武蔵野(貨物)線は計画道路と立体交差しています。

計画道路の東側には、JR 南武線の稲城長沼駅及び京王電鉄京王相模原線の稲城駅が位置しています。

各駅の平成 24 年度から平成 28 年度までの年間乗車人数は、表 8.1-5 に示すとおりです。乗車人員数の最多は稲城駅の年間約 378 万人(平成 28 年度)であり、各駅ともこの 5 年間で増加傾向となっています。

表 8.1-5 年間鉄道乗車人員数

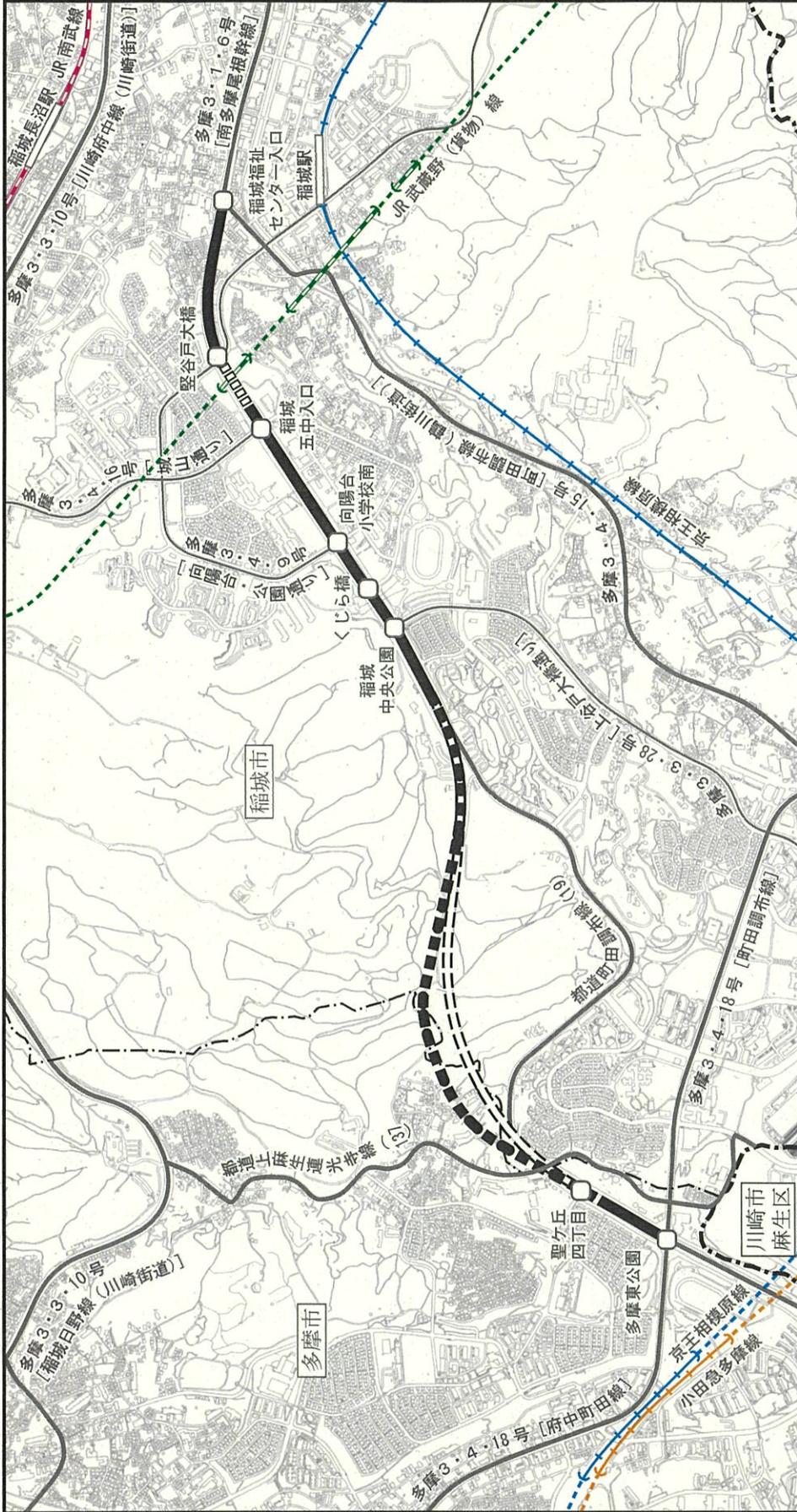
(単位：千人)

路線名	駅名	種別	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
JR 南武線	稲城長沼駅	定期	1,690	1,726	1,753	1,808	1,866
		普通	738	732	762	789	805
		合計	2,428	2,458	2,515	2,597	2,670
京王電鉄 京王相模原線	稲城駅	定期	2,253	2,287	2,266	2,288	2,381
		普通	1,309	1,347	1,354	1,383	1,401
		合計	3,562	3,634	3,620	3,671	3,782

注1)種別における「定期」は定期券利用者数、「普通」は普通券利用者数を示しています。

注2)表中の値は端数処理のため、「定期」+「普通」の値が「合計」と一致しない場合があります。

資料：「東京都統計年鑑」(平成 30 年 12 月閲覧 東京都総務局ホームページ)



凡例

- 計画道路 (平面構造)
- 計画道路 (トンネル構造 (A案 既定都市計画案))
- 計画道路 (トンネル構造 (B案 南側変更案))
- 計画道路 (橋梁構造)
- 都県界
- 市界
- 道路 (主要地方道・一般都道)
- 道路 (計画道路と交差する主な市道)

○ 交差点

— 鉄道

- 京王電鉄京王相模原線
- 小田急電鉄小田急多摩線
- JR 武蔵野 (貨物) 線
- JR 南武線

1:20,000

0 0.5 1km

図 8.1-2 鉄道網図

(3)バス

計画道路を通行・交差するバス路線は、表 8.1-6 及び図 8.1-3 に示すとおりです。計画道路周辺には京王バス及び稲城市の市内循環バスがあり、計画道路を通行する路線が 6 系統、計画道路を交差する路線が 6 系統あります。また、計画道路上には 3 箇所のバス停(多摩東公園、杜の一番街、稲城中央公園)が設置されています。

表 8.1-6 バス路線一覧

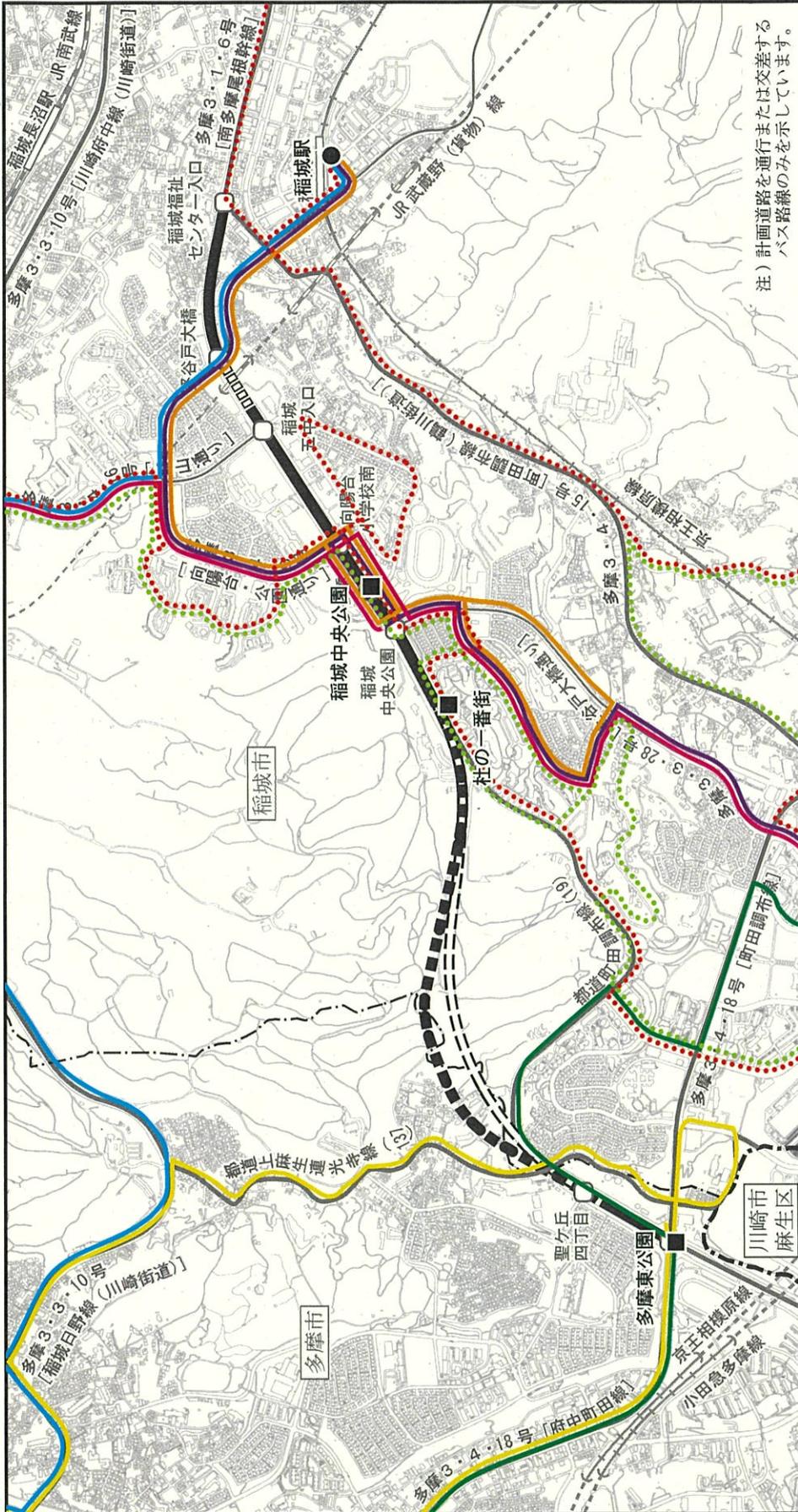
バス会社名	系統名	起点(終点)	経由	終点(起点)	計画道路との関係
京王バス	稲 12	南多摩駅	向陽台・長峰	若葉台駅	通行・交差
	稲 13	稲城駅	向陽台・総合体育館	長峰循環	通行・交差
	稲 22	稲城駅	稲城市立病院	聖蹟桜ヶ丘駅	交差
	若 02	若葉台駅	稲城中央公園	稲城駅	通行・交差
	桜 07	聖蹟桜ヶ丘駅	多摩東公園・連光寺	永山駅	交差
	桜 28	聖蹟桜ヶ丘駅	多摩東公園・馬引沢二丁目・諏訪下橋	若葉台駅	通行
i バス	A, B コース	平尾団地	若葉台公園・稲城中央公園	稲城市立病院	通行・交差
	C コース	平尾団地	はるひ野駅・稲城中央公園	南多摩駅	通行

注1) 表中の「計画道路との関係」において、通行：バスが計画道路を通行、交差：バスが計画道路と交差する道路の通行を意味しています。

注2) 計画道路を通行または交差するバス路線のみを示しています。

資料：「京王バス路線図」(平成 30 年 12 月閲覧 京王バスホームページ)

「i バス路線図・時刻表」(平成 30 年 12 月閲覧 稲城市ホームページ)



凡例

——	計画道路 (平面構造)	○	交差点	[京王バス]	若02
——	計画道路 (トンネル構造 (A案 既定都市計画案))	— —	鉄道	箱12	桜28
——	計画道路 (トンネル構造 (B案 南側変更案))	●	バス停留所 (鉄道駅)	箱13	桜07
——	計画道路 (橋梁構造)	■	バス停留所 (計画道路に位置するもの)	箱22	A, Bコース
——	都県界	●●●●		[iバス]	Cコース
——	市界				
——	道路 (主要地方道・一般都道)				
——	道路 (計画道路と交差する主な市道)				

図 8.1-3 バス路線図

資料: 「京王バス路線図」(平成30年12月閲覧, 京王バスホームページ)
「iバス路線図・時刻表」(平成30年12月閲覧, 稲城市ホームページ)